



# 能登への応援 ファンと共に

御前崎市出身のポートルーサー長嶋万記選手によるチャリティーイベント「マキプロジェクト」が6日、湖西市新居町のポートルース浜名湖であった。能登半島地震の被災者支援に向けた石川県産品の販売や動物愛護といったチャリティーの物販などに現役や元選手らが参加。長嶋選手らのイラストをあしらった静岡産のお茶商品もお目見えした。(河野貴子)

ポートルーサー長嶋選手が慈善イベント

コロナ禍を挟んで6年ぶりの実施。「ファンと選手が一体になってやりたい」と、東日本大震災の復興支援などをしてきた。2015年に一般社団法人「ZERO」を創設。分野を超え「同じ志を持つ人とやってきた。人が人を呼び、大きな渦になっているのを実感している」と話す。

実家はお茶の販売店。需要減で茶価の低迷や生産量

①チャリティーオークションをする長嶋万記選手  
②長嶋万記、森下愛梨両選手のイラスト入り緑茶を紹介する安間達哉さん＝いずれも湖西市新居町のポートルース浜名湖で



## 石川県産品や 特製お茶販売

が減少している静岡の茶産業を応援しようと、湖西市駅南の茶販売「静岡やすま園」の依頼を受け、森町出身の「弟子」森下愛梨選手とともに協力。やすま園は両選手の似顔絵とサインがそれぞれ入った茶葉とティールバッグ、粉末緑茶(40g、60g、各800円)を今回新発売した。

長嶋選手のイラスト入りは御前崎が売り出しているつゆひかり、森下選手はやぶきた。やすま園の店頭と通販、同レース場インフォメーションなどで販売している。

やすま園の安間達哉代表(60)は、自身が生体腎移植のドナーになった経験から再生医療を支援したいと、売り上げの一部を京都大IPS細胞研究財団に寄付した。

今回のマキプロジェクトでは、東日本大震災で被災した宮城県気仙沼市の物産販売や動物愛護活動、チャリティーオークションなどがあった。